

人間ドックの助成を行っています。

多久市の国民健康保険では、健康診断より専門的な人間ドックを受診する人に助成を行っています。

対象者 多久市の国民健康保険加入者
(入院療養中の人は除きます)

人間ドックの費用

- 検診に要する費用 … 35,000円
- 助成額 …………… 28,000円
- 本人負担額 …………… 7,000円

※消費税が別途かかります。
※基本以上の検査をされる場合は別途個人負担が加わります。

申し込み方法 事前の申し込みが必要です。
以下のものを持って保険年金係へお越しください。
○国保の保険証 ○印鑑 (認印可)



ご注意下さい

- ※申請時に保険税に未納がある場合、人間ドック助成を受けることはできません。
- ※人間ドックの助成は先着60人となっています。受診希望者は早めの申請をお願いします。
- ※人間ドックを受診された場合、特定健診の受診は必要ありません。

申請から受診までの流れなど、くわしくはホームページまたは電話で、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ 市民生活課 保険年金係 ☎75-2159

健診の結果から自分の生活を見直し、生活習慣病予防のためのポイントを確認しましょう。

糖尿病は知らないうちに合併症を起こし、重症化します。

糖尿病で治療中の人には、糖尿病連携手帳が渡されます。
佐賀県は、AとBの2種類があります。



A 日本糖尿病協会が発行する手帳 B 佐賀県医師会が発行する手帳

この手帳は、下図のように、本人、かかりつけ医、歯科医、眼科医、保健師、管理栄養士、薬剤師など、関わる人が一緒になって治療を続けるための手帳です。病院や歯科医院、薬局などにも持っていく、治療の“パスポート”となるように、みんなで使いたいですね。



こんな意見をいただきました。

① 歯科や眼科の先生は、この連携手帳をご存知なかったが、今では眼底検査の項目に記入してもらえるようになった。今まで歯科医や眼科医に糖尿病の状況を聞かれても正確に現状を伝えることが難しかったが、糖尿病連携手帳があることで、先生が状況をすぐ把握してくださるので患者としては非常に安心できる。

② 手帳の使い方は、この数値を見て自分で確認し、管理をしてくださいという意味だと思う。薬局へ行った場合、血糖の状況など聞かれたときに、見せるとすぐわかる。



糖尿病治療中でまだ手帳を持っていない人は、かかりつけ医に相談してみませんか？

問い合わせ 健康増進課 ☎75-3355